

■平成28年度執行目標 教育部

部局	課・室	番号	執行目標項目	執行目標の内容	背景・課題・留意点等	項目 (単位)	根拠計画 等	H27 実績値	H28 目標値
教育部	学校教育課	1	学校施設の耐震化等の整備	恭仁小学校耐震補強工事（第3工区）を実施する。 棚倉小学校の解体・外構整備工事を実施する。 上粕小学校の解体・改築工事を実施する。	平成27年度までの取り組み 平成22年度に策定した「木津川市立小中学校耐震化改修計画」に基づき、耐震化や改築を行ってきた。 平成28年度の取り組み 入札不調等により、計画から1年遅れたが、今年度の3小学校の改修で耐震化率が100%となる。	年度内工事出来高率（%）	木津川市立小中学校耐震化改修計画	100	100
教育部	学校教育課	2	児童送迎バスの効果的運用	当尾地区から南加茂台小学校への児童送迎バス運行について、バス借上げによって事業実施していたものを、バスを購入して運行を委託することとし、経費の削減を図る。あわせて、購入バス車両の有効的な利用について検討を行う。	バスの借上げについては、平成26年度の道路運送法の改正により運行経費が増加しており、バスを購入して運行委託することで、初年度の投資的費用は必要となるが、経年の経常経費を比較すると財源負担の軽減が見込まれる。あわせて、購入バス車両を当該事業以外のバス借上げ事業に利用が可能であるか、また補助金財源についても確認・検討を行う。				
教育部	学校教育課	3	質の高い教育の創造を目指した学力充実・向上の推進	木津川市の子どもたちが、未来の社会を「自立・協働・創造・自活」しながら豊かに生きていく基盤を培うため、すべての子どもたちが確かな基礎学力を身に付けられるよう、また一人ひとりの能力と個性を伸ばす「質の高い教育」の創造をめざして、学校と教育委員会が連携した学力充実・向上推進会議を立ち上げる。また、家庭学習支援講座の実施、補充学習事業の継続等、学習支援施策の拡充を図る。	児童・生徒が「質の高い学力」を身に付けるためには、全国学力・学習状況調査等の分析・検証、これを基にした効果的な指導方法や家庭学習のあり方、各学校間の取り組みの交流や先進地視察等を通じて、学校改善・授業改善につなげる。また、経済的に困難な家庭への学習支援もあわせて行うことで、総合的に支援体制を充実させる。				
教育部	社会教育課	1	高齢者教育事業における手法等の見直し	①生きがい大学の講座については、開講式・夏季講座・近隣市町村巡り・社会見学・教養講座・閉講式で構成されており、すべての講座がバス（市有バス及び借上げバス）による送迎が実施されている。については、次の2項目において、検討、見直しを行う。 ・社会見学における事業実施方法について、従来の社会福祉協議会への委託方式から市直営方式に見直しを行う。 ・バス送迎については、夏季講座の開催にあたり、公共交通機関を利用していただくことにより、大学生以外の方とのふれあい、出会いの機会を持ていただける観点から、バス使用の見直し検討を行う。 ②受講生のさらなる増加に向けた事業内容の充実や受益者負担の観点も含めた受講料等について、生きがい大学運営委員会等において、1年間をかけてトータル的な見直しの検討を行う。	平成27年度における受講生率（受講生/対象者）は3.5%、事業参加率（参加者/受講生）は45%～55%と低い数値となっており、さらなる受講生や事業参加者を増やすための環境づくりや事業内容の見直しが必要である。また、収支においても事業費が大きく増加しているにもかかわらず、受講費は事業実施当時から現行どおりであり、受益者負担の面からも見直しが必要である。	延べ参加者数（人）	生涯学習推進計画	2083	2640
教育部	社会教育課	2	中央体育館屋根等改修	中央体育館における雨漏り対策（屋根及び外壁の改修）、地震時の安全を確保（吊り天井の撤去）、照明等の設備更新について、平成30年4月完成を目標に事業を進める。 （平成28年度は実施設計をし、平成29年度当初予算に工事費等を計上予定である。）	施設者朽化により雨漏りが発生しており、体育館の使用に危険が生じているとともに、降雨時には職員によるフロアのふき取り等の対応が必要となるため、利用者に不便、支障をきたしている。また、地震時における利用者の安全を確保する。	中央体育館利用者数（人）	生涯学習推進計画	69260	69260
教育部	文化財保護課	1	文化財保存活用基本計画に基づく各種事業の進行	平成27年度において策定した木津川市文化財保存活用基本計画に基づき、各種事業を進める。 これまで未実施の市内文化財の調査を開始し、文化財台帳の整理に取組み、今後の文化財指定に向けたデータ整備を図っていくものとする。対象数が多いことから長い時間を要する作業であるが、地道に取組を進めていく。史跡の保存・活用を推進する。史跡恭仁宮跡及び史跡神雄寺跡について公有化を継続する。史跡高麗寺跡は昨年度で造成工事等が完了し、今後、5年間の整備を予定しており、本年度は、講堂跡及び回廊跡の整備に取組む。史跡椿井大塚山古墳については石垣安全対策工事を実施する。	木津川市文化財保存活用基本計画の策定を完了した。製本も完了し、市内外の関係機関に配布し、市ホームページにおいても掲載し周知・啓発を行っている。 本計画は、今後、市として取組むべき、共通の基本ルールを定めたものであるが、具体的な詳細な実施計画等までは踏み込んでいないので、今後、優先して取り組むべき内容等について、整理・検討が必要となる。当面は、現継続事業の完了を目指す。				
教育部	文化財保護課	2	文化財保護啓発事業の推進	ふるさと学習（歴史学習）の推進（小中学校への出前授業の推進） 各種団体などとの連携による文化財の啓発・学習事業の推進	【継続】 加茂町井平尾の人形浄瑠璃泉川座の人形、道具等の展示（市役所1階住民活動スペース：11月20日～12月18日）（泉川中学校：1月14日～1月22日） 木津川市ふれあい文化講座：年4回実施（平成27年度参加者数：380人） 出前授業、歴史学習：棚倉小学校・泉川中学校、公民館講座、生きがい大学 京都SKYセンター、府職員初任者研修、大里区、山城町老人クラブ など				
教育部	文化財保護課	3	市内文化財の保全・修理事業の推進	浄瑠璃寺：国宝阿弥陀堂背面保全修理、三重塔周りの危険木の伐採等を実施する。 相楽神社：透塀修理等を行う。	【継続】 国指定文化財維持管理事業：防災設備保守点検（平成27市補助金：1,691千円／14社寺） 府指定・登録文化財維持管理事業（平成27市補助金：1,454千円／6社寺）				